



区制90周年特別展「豊島大博覧会」を開催 過去から学び、今日を生き、未来に希望



豊島区は令和4（2022）年10月1日から翌年3月26日まで、区制90周年記念の特別展を開催。メイン会場では「豊島大博覧会」の名にふさわしく、明治から令和へと大きな変貌を遂げた豊島区の歩みを600点以上の郷土資料、美術・文学作品とジオラマ・模型、映像で振り返るとともに、区制100周年に向けて発展を続ける豊島区の将来像を大型模型と動画で紹介しています。

◆明治から令和へ、豊島区誕生と繁栄の軌跡を辿り、未来へつなぐ

区内の歴史・文化施設で豊島区の歩みを紹介

「豊島大博覧会」では郷土資料館をメイン会場とし、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館、トキワ荘通り昭和レトロ館（昭和歴史文化記念館）の3カ所をサテライト会場と位置づけ、特別展示を行っています。



第1章 豊島区誕生前史 むかしのとしま

明治・大正期の豊島地域は近郊農村で、野菜の産地でした。中山道周辺には野菜の種子屋が集まっていたほか、牧場も区内に延べ60軒ほどあり、大正期には牛乳の生産地でした。

第1章では、当時使われていた農具や種苗カタログ、種子の注文帳、牛乳瓶、半纏、牧場風景を描いた絵画などを展示しています。

また区ゆかりの女性作家や大正7（1918）年に目白で創刊した児童雑誌『赤い鳥』などの児童文化も紹介しています。

第2章 豊島区の誕生と 人々のくらし

としまくのはじまり

豊島区は、昭和7（1932）年10月1日、北豊島郡の巣鴨町・西巢鴨町・高田町・長崎町の4町が合併して誕生しました。第2章では、若い芸術家が集まり住んだ「長崎アトリエ村」の様子を模型で展示しています。池袋モンパルナスの名付け親である小熊秀雄をはじめ、芸術家の作品も一堂に。

また江戸川乱歩や山手樹一郎など豊島区ゆかりの作家の原稿や作品のほか、戦中・戦後の区民の暮らしを生活資料や写真、池袋ヤミ市の模型などで紹介しています。



第3章 豊島区の繁栄と 副都心池袋 さかえるとしま

第3章では、昭和33（1958）年

に副都心となった池袋を中心に、急速な復興を遂げて繁栄していく豊島区を紹介しています。山本高樹氏制作による「旧豊島区役所・豊島公会堂・旧豊島区民センター周辺ジオラマ」「池袋駅東口周辺ジオラマ」は目玉展示として人気を集めています。



そのほか、戦後も豊島区に住んだ作家による美術作品、映画館の上映案内やポスター、都電の部品や系統板、銭湯の体重計や湯桶などが壁一面に展示され、昭和のまちの賑わいと人々の暮らしぶりがよくわかります。

第4章 国際アート・カルチャー都市としまくのいま

第4章は平成・令和の時代。平成27（2015）年には新庁舎（豊島区役所）と超高層マンションが一体となった国内初の複合施設「としまエコミューゼタウン」が完成。その後、旧庁舎と豊島公会堂、豊島区民センター



の跡地は令和2（2020）年に8つの大型劇場を備えた新複合商業施設「Hareza池袋」となりました。

この章では、建築家・隈研吾氏が携わった「としまエコミューゼタウン」と国立競技場の模型を展示。池袋駅北側東西を結ぶ公共地下通路「ウイロード」や池袋駅北口トイレ「ウイトピア」などを再生した美術作家・植田志保氏の作品と映像も紹介しています。



としまエコミューゼタウン 模型

第4章の「現在」から第5章の「未来」へつなぐイケちゃんランド

豊島区内を走る電気バス「IKEBUS」や「としまキッズパーク」をはじめ、鉄道車両や駅舎などのデザインをして



きた水戸岡鋭治氏が設計・デザインしたイケちゃんランドは、会場内の連絡通路にあります。IKEBUSのマスケットである真つ赤なふくろうのイケちゃんとIKEBUSのイラストが床、壁、天井、扉にいっぱい描かれ、豊島区をワクワク旅する楽しい空間となっています。



第5章 輝く未来としましんじだい

第5章では、豊島区・池袋の将来像を紹介しています。展示のメインは、幅約1.4m×長さ約2.2mの大型都市模型です。池袋駅周辺の様々な地区で計画中の都市再生プロジェクトが、ひとつの模型として表現されるのは今回が初となります。

また、会場で上映中の「豊島区制90周年池袋まちづくり紹介動画」は、ま



ちづくりの過去・現在・未来を、一般初公開のパスも数多く取り入れ、迫力満点の作品となっています。本動画は豊島区公式YouTubeチャンネルでも公開中です。下記二次元コードより併せてご覧ください。

その他の展示パネルとも併せて、区制100周年に向けて発展を続ける池袋駅周辺の将来像を、余すことなく体感することができます。



豊島区立郷土資料館

郷土資料館は、歴史・考古・民俗に関する資料を中心に収集・保存し、調査・研究し、その成果を展示等を通して区民に還元していくことを目的に、昭和59（1984）年に開館しました。その後、建物の大規模改修工事にともない平成29（2017）年に展示をリニューアルしました。常設展示のほか、年に数回、郷土資料、美術、文学・マンガの3分野が連携した企画展や収蔵作品・資料展を開催しています。

住所：豊島区西池袋 2-37-4
 としま産業振興プラザ (IKE・Biz) 7階
 TEL：03-3980-2351
 開館時間：9時～16時30分
 (2023年3月26日までは18時まで開館)
 休館日：月曜日（祝日と重なる場合はその翌日）、第3日曜日、祝日、年末年始、
 展示替えにともなう臨時休館
 入館料：無料



としま産業振興プラザ



メイン会場を見学したあとは 区内3カ所のサテライト会場へ

豊島区立雑司が谷旧宣教師館

雑司が谷旧宣教師館は、明治40（1907）年にアメリカ人宣教師マツケールが居宅として建てたもので、区内に現存する最古の近代木造洋風建築であり、東京都内でも数少ない明治期の宣教師館です。昭和57（1982）年に豊島区が取得し、平成元（1989）年から一般公開しています。平成4年に豊島区指定有形文化財（建造物）に、平成11年には東京都指定有形文化財（建造物）に指定されました。

展示室ではマツケールの日本での活動や生活のほか、雑司が谷ゆかりの文化人についても紹介しています。「赤い鳥コーナー」では、豊島区で誕生した児童雑誌『赤い鳥』（復刻版）をはじめ、関連図書や雑誌を閲覧できます。

サテライト会場としては、区制90周年企画展「としまと『赤い鳥』」区制90年を彩る児童文化」を開催。『赤い鳥』を主宰した鈴木三重吉、童話を寄稿した芥川龍之介、童話部門を担った北原白秋、表紙や挿絵を描いた深澤省三、三重吉の理想を受け継ぎ童話雑誌『びわの実学校』を創刊した坪田譲治を取り上げ、代表作やエピソードを紹介しています。毎月第1土曜日には詩人の小森香子氏による童話の朗読会「『赤い鳥』を語り継ぐ、おばあちゃんのおはなし会」が開かれます。

住所：豊島区雑司が谷 1-25-5
 TEL：03-3985-4081
 開館時間：9時～16時30分
 休館日：月曜日、第3日曜日、祝日の翌日（翌日が日曜日の場合は翌週火曜日）、年末年始、臨時休館日
 入館料：無料



豊島区立鈴木信太郎記念館

フランス文学者として活躍した鈴木信太郎（1895～1970）の旧宅「旧鈴木家住宅」（平成24（2012）年に豊島区指定有形文化財指定）を改修・整備し、平成30年に鈴木信太郎記念館として開館しました。昭和3（1928）年建築の書斎棟、昭和21年建築の茶の間・ホール棟、明治20年代の建築で昭和23年に現在の埼玉県春日部市の鈴木本家から移築した座敷棟の3棟からなる建物は、3つの時代の生活様式がわかる希少なものです。常設展示では、書斎棟において主にフランス文学に関する信太郎の著作と蒐集資料を「フランス文学の受容と展開」「象徴主義フランス詩の世界」等、5つのコーナーに分けて紹介しています。加えて建築図面や書類など建物の増改築の変遷を物語る資料を展示しています。

サテライト会場としてのテーマは、区制90周年企画展「鈴木家の暮らし」としま90年」。茶の間にこの家です。に使われていた家具や調度品に加えて信太郎の等身大パネルも展示し、鈴木家の昭和の暮らしを再現しました。座

住所：豊島区東池袋 5-52-3
TEL：03-5950-1737
開館時間：9時～16時30分
休館日：月曜日（祝日と重なる場合はその翌日も）、第3日曜日、祝日、年末年始、展示替えにとまなう臨時休館
入館料：無料



書斎棟内観



座敷棟外観



トキワ荘通り昭和レトロ館 （豊島区立昭和歴史文化記念館）

トキワ荘通り昭和レトロ館は、昭和20年代に建てられた戦後マーケット「味楽百貨店」の建物の一部を豊島区が借上げ、マンガ・アニメによるまちづくりの活性化と昭和の歴史・文化の継承のため、令和4年11月3日にオープンしました。同館2階の展示室では、郷土史家矢島勝昭氏によるおもに戦前・戦中期の日常生活を題材とした絵画等が展示されている「矢島勝昭昭和のくらしギャラリー」、またかつての和室六畳間の生活を再現した「昭和のくらし〜昭和40年頃の日常〜」を常設展示しています。

多目的室2で開催されている区制90周年特別企画展「タイムトリップ豊島区の90年」では、昭和から平成にかけて撮影された風景と、ほぼ同じ場所から撮影した現在の風景を比較対照し、時代の移り変わりを読み解く展示です。併せて山本高樹氏制作の「人世横丁」と「神田川周辺」ジオラマも公開。そのほか企画展として、ドールハウス、キューブ型パズルといった昭和の時代から現在まで支持されているお

住所：豊島区南長崎 3-4-10
TEL：03-3565-6991
開館時間：10時～18時（入館は17時30分まで）
休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間
入館料：無料
（※1階マンガピットは有料）



「昭和のくらし〜昭和40年頃の日常〜」
展示風景



児童相談に携わる職員の 更なる専門性の向上に向けて

◇児童相談所関連研修計画の策定

特別区職員研修所では、本年度新たに、児童相談所関連研修を専門に担当する教務第2課を設置しました。また、研修の更なる充実に向け、「児童相談所関連研修計画（令和5年度～令和8年度）」を策定しました。

この計画の中から、新たな取組をいくつか紹介します。

○研修対象者は、特別区児童相談所職員、子ども家庭支援センター職員を中心に、母子保健担当、保育園職員など、子どもと家庭を支援する部署の職員を広く対象とする。定員に余裕があれば、近隣自治体の職員も受け入れる。

○改正となった法令や国の指針等を踏まえるとともに、最新の知見に基づく専門研修を実施する。

○研修は、法定研修、課題別研修、試行研修の3つの構成とし、中堅・リーダー級職員向け研修を新設するなど、組織を支える人材の育成にも力を入れていく。研修カリキュラムには、各区のニーズを反映させる。

○演習・トレーニング形式の研修をこれまで以上に増やすなど、実践的な研修形態となるよう工夫する。また、研修後も区を超えて情報交換できるよう交流を重視する。

○特別区職員の講師の育成を行うていく。

◇児童相談業務管理監督職研修の実施

11月8日（火）、11日（金）の2日間、「児童相談業務管理監督職研修」を実施しました。研修生は、特別区の児童相談所職員、設置準備を行っている区及び中核市職員、特別区子ども家庭支援センター職員で、部長級、課長級、係長級合計39名でした。

1日目の午前には、基礎知識として「特別区制度と特別区の児童相談所設置の意義」、「改正児童福祉法」、「こども基本法の概要とこども家庭庁」について学びました。午後は、早稲田大学社会的養育研究所長の上鹿渡和宏教授に家庭的養育の現状と今後の方向性についてお話しいただきました。また、二葉乳児院の長田淳子副施設長に特別区におけるフォスタリング業務の実践についてご紹介いただきました。特別区における里親支援体制の充実については大きな期待が寄せられており、各区児童相談所での積極的な取組や工夫の詳細をお聞きすることができました。

所の人材育成について貴重なお話をお聞きしました。

研修生同士で意見交換をする時間には、責任ある立場ならではの問題意識と事例などについて話し合われ、課題解決へのヒントをつかむことができました。

「改めて区児相設置の意義を確認できた。」「必要な情報をタイムリーに学ぶことができた。」「同じ方向を向いている方たちと一緒に学ぶだけで、刺激になった。」「見相と弁護士の関係性の歴史から現状までの網羅的解説は圧巻だった。」「フォスタリングについてしっかりと学ぶ機会がなかったため、大変良い機会になった。」「岡山県を含め他自治体が辿った人材育成の過程は非常に勉強になった。」

「最新情報の把握ができて、大変有効な時間となった。」「等の感想が寄せられました。」



◇交流スペースをご活用ください

10月に9段下に移転した特別区職員研修所では、9階に交流スペースを設けました。研修生同士が自主的に意見交換し、理解を深め、職務に活かすことが目的です。

11月4日には、平成29年から自主的学習グループとして活動している「特別区子ども家庭相談業務心理職連絡会」が、「心理検査結果のフィードバック」について和光大学の熊上崇教授をお呼びして学習会を行いました。平日夜間にもかかわらず会員のうち41名が参加し、区を超えて現場での課題や苦労を共有し自主学習会ならではの交流が行われました。連絡会の幹事からは、「学習会の場所を確保するのに苦労していた。場所も23区を中心に位置するので、集まりやすくなって良かった。」との声がかげられました。

区を超えた学習会の場として、さまざまなかような専門分野でご利用ください。

利用を希望される団体は特別区職員研修所までお問合せください。



（特別区職員研修所）

(公財)特別区協議会・東京都公文書館共催パネル展示 「東京の鉄道と地域」を開催しています



東京新橋鉄道繁栄并高輪遠景



絵葉書「東京市電車」(東京都交通局所蔵)

東京区政会館1階エントランスホールにおいて、パネル展示「東京の鉄道と地域」を開催しています。

今回の展示は、令和4年、鉄道開通150年を記念して東京都公文書館で開催した企画展をダイジェスト版にしたパネルと映像で紹介いたします。

東京の鉄道のあゆみと、それがもたらした地域の変容をたどりながら、鉄道開通からの歴史を再現する上で欠かすことのできないアーカイブズを感じていただければ幸いです。

「東京都公文書館パネル展」

● 展示期間 (日曜日・祝日を除く)

令和5年1月11日(水)～2月28日(火)

● 展示時間

月曜日～金曜日 9時から20時30分まで
土曜日 9時から17時まで

※ 展示期間が変更になる場合があります。

(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館いただくようお願いいたします。

(東京都公文書館・特別区協議会事業部)

令和4年第4回特別区人事・厚生事務組合議会定例会の結果

12月16日(金)に第4回定例会が開かれました。付議案件の審議結果は次のとおりです。

予算案件

・ 令和4年度特別区人事・厚生事務組合一般会計補正予算(第2号) (可決)

条例案件

- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 公益的法人等への特別区人事・厚生事務組合職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事委員会の業務状況の報告に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

契約等案件

- ・ 特別区人事・厚生事務組合保護施設の指定管理者の指定について (可決)
- ・ 特別区人事・厚生事務組合宿泊所の指定管理者の指定について (可決)

(特別区人事・厚生事務組合総務部)

令和4年第4回特別区競馬組合議会定例会の結果

12月19日に第4回定例会が開かれました。主な付議案件の審議結果は次のとおりです。

審議結果

- ・ 特別区競馬組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 特別区競馬組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 令和4年度特別区競馬組合一般会計補正予算(第1号) (特別区競馬組合議会事務局)

令和4年第2回東京二十三区清掃一部事務組合議会臨時会の結果

12月19日に第2回臨時会が開かれました。付議案件の審議結果は次のとおりです。

審議結果

- ・ 東京二十三区清掃一部事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

令和4年第4回東京二十三区清掃一部事務組合議会定例会の結果

12月27日に第4回定例会が開かれました。主な付議案件の審議結果は次のとおりです。

審議結果

- ・ 東京二十三区清掃一部事務組合廃棄物処理条例の一部を改正する条例 (可決)
- ・ 墨田清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について (可決)

(東京二十三区清掃一部事務組合事務局)

令和4年度第2回全国連携展示（千葉県37市） 「魅力いっぱい ギュッと千葉」を開催しました

特別区長会と連携協力協定を締結している千葉県市長会との連携事業として、千葉県37市（千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市）の紹介展示を令和4年11月9日（水）から12月22日（木）まで、東京区政会館1階で開催しました。

今回の展示では、各市の担当者から「市のイチオシ情報」を提供してもらい、「自然」「レジャー・体験」「歴史・文化」「街・暮らし」などのテーマに分類して、千葉県の魅力を幅広く紹介しました。

このほか、各市の観光パンフレットの配布や、千葉県PRマスコットキャラクター「チーバくん」のイラストパネル、千葉県の魅力紹介映像の上映など、様々な形で行いました。

千葉県37市の魅力を再発見し、交流を深めていただくきっかけとなる展示となりました。

（特別区長会事務局・特別区協議会事業部）



特別区自治情報・ 交流センター休館のお知らせ

全館停電に伴い、左記の期間は休館とさせていただきます。休館中は資料の貸出・予約・返却を中止いたします。
ご不便をおかけしますが、利用者の皆さまには、ご理解のほどお願い申し上げます。

- ▼全館停電に伴う閉館時間の変更
令和5年1月20日（金）17時閉館
- ▼全館停電に伴う休館
令和5年1月21日（土）

【問合せ先】

（公財）特別区協議会 事業部調査研究課
特別区自治情報・交流センター
電話 03（5210）9051



特別区自治情報・
交流センター
ホームページ



（特別区協議会事業部）
公式ツイッター

令和4年12月 区長会・議長の主な案件等

区長会

12.16

- HITの推進に向けた都の取組について
- 低所得世帯への生活支援事業について
- 多摩地域の児童相談所管轄区域の見直し等について
- 新型コロナウイルスワクチン接種等について
- GovTech東京設立に向けた検討状況について
- 特別区のスケールメリットを生かした業務効率化について
- 各団体議会等提出予定案件について
- 労務交渉について
- 管理職選考（技術）の合格者数算出方法の見直しについて
- 第25回特別区制度懇談会について
- 令和5年度都区財政調整協議について
- 令和4年度第2回都区協議会及び知事と特別区長との意見交換会について
- 地方版図柄入りナンバープレートの導入要件緩和に関する要望について
- 東京23区の大学の定員抑制等について
- 特別区全国連携プロジェクトについて
- 被災地への職員派遣等について
- 復興支援金の支給基準の見直し及び令和4年台風14号・台風15号に係る被災自治体への支援について
- 区長会専門部会等の構成について
- 都区のあり方検討について
- 各種審議会委員等の推薦について
- 今後の新型コロナウイルスワクチン接種について

（特別区長会事務局）

議長会

12.19

- 令和5年度都区財政調整協議状況について
- 第25回特別区制度懇談会について
- 全国市議会議長会産業経済委員会結果報告について
- 関東市議会議長会「都県提出議案」について
- 令和5年度議長会等の役職の選任方法について

（特別区議長会事務局）

特別区協議会事業部・東京都立大学オープンユニバーシティの共同講座

特別区プレミアム講座

「東京23区の今を考える」を開設します

この度、特別区協議会事業部と東京都立大学オープンユニバーシティとの連携で、特別区プレミアム講座を新たに開設します。この講座は、「東京23区の今を考える」という視点で、有数の大都市東京23区の社会的課題やその対応に関して広く区民に理解を深めていただくことを目的としています。そこで、第1回を下記のとおり実施します。

東京23区の今を考える 自治体間連携が切り拓く自治のフロンティア

講師：おおすぎ さとる 大杉 寛 東京都立大学 法学部教授
 日時：3月1日（水） 14：00～16：00
 場所：東京区政会館20階 201～203会議室



講師略歴

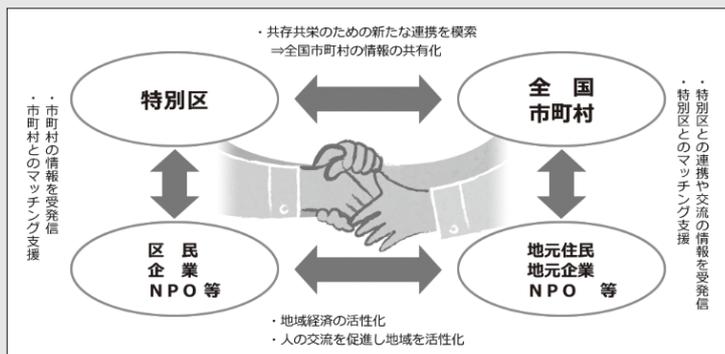
博士（学術）
 東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。
 成城大学法学部専任講師、東京都立大学法学部助教授を経て、2005年から現職。
 専門分野は行政学・都市行政論。特別区制度懇談会委員、総務省「地域づくり人材の養成に関する研究会」座長など多数歴任。

講座の概要（都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用）

遠隔自治体間連携（「遠隔連携」）はあまりなじみのない表現かもしれませんが、従来の姉妹都市交流などをはじめ、かなり古くからある自治体間連携の一つのタイプです。近年では特別区長会の推進する特別区全国連携プロジェクトが多様なパターンで展開されるなど、新たな動きが生まれています。それにともない、特別区長会や特別区が展開する「遠隔連携」は特別区内のみならず、全国的に注目されるようになってきました。個別の自治体経営はもちろん、これからの地方自治のあり方を考えるうえでも、重要な意義を持つようになってきたのです。

本講座では連携経営という視点から自治体間連携の意義について、先駆的な取組みを進めてきた特別区による「遠隔連携」を中心に、具体的な例をとおして考えていきたいと思います。

- 「連携経営」の視点と自治体間連携
- 「遠隔」自治体間連携の展開
- 遠隔連携の実例・先進的な「特別区全国連携プロジェクト」の意義
 - ・特別区が取り組む多彩な遠隔連携
 - ・遠隔連携のさまざまな事例
- 自治体間連携の展望と可能性



大森彌・大杉寛『これからの地方自治の教科書 改訂版』2021年、第一法規



大杉寛『コミュニティ自治の未来図』2021年、ぎょうせい

※特別区職員向けの受講は別途ご案内致します。

（特別区協議会事業部）



東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 2月開講講座のご案内です！！

●人口減少時代の地域経済再生

【講座コード：2241E003】

2022年1月1日時点の人口動態調査で、1都3県（東京、埼玉、千葉、神奈川）の人口は前年比0.1%減となり、1975年の調査開始以来初めて前年を下回りました。少子高齢化で死亡が出生を上回る自然減が大きくなり、地方からの人口流入で補えなかったのです。

そもそも地方地域はこの25年、少子高齢化が急速に進んでおり、首都圏へ流入する人口を供給することも難しくなっています。したがって多くの方が東京のオフィスに通勤することによる膨大な昼間人口を前提とした東京の都市経済モデルも成り立たなくなっています。

今後、首都東京をこのまま維持するためには、次の2つの方法のいずれか、もしくは双方を実現しなければなりません。

- ①地方地域の地域経済を再生させ、地方の急激な少子高齢化にストップを掛ける
 - ②東京の都市モデルを「地方に頼らない」ものに変えて、地域経済を維持・復興する
- ワークショップ形式の講義にてそれぞれの課題を深掘りし、その解決のための転換点を見つけ出して、さらに課題解決の戦略と施策を考えていきたいと思えます。

講師：釘持 勝
イー・リゾート代表
日時：2月18、25日（土）
12:00～15:10（全2回）
受講料：10,100円
場所：飯田橋キャンパス（対面）

●「格差社会の謎」

持続可能な社会への道しるべ

【講座コード：2241F006】

格差が拡大し分断が進む社会は持続性を持たない。国連は、2015年にあらゆる貧困と格差からの自由、人権が保障され、地球環境が保全される社会の実現を目指し、その社会変革のための17の目標を掲げる（SDGs）。そのうち、第1目標が貧困解消であり、第2目標としてフードセキュリティの実現、そして第10目標として国内外での格差解消を掲げる。また、世界の貧困、格差の現実に立ち向かうNGOのオックスファムは、貧困と格差拡大の原因が今日の資本主義システムの欠陥、搾取性にあるとする。

しかし、国連が第1目標に掲げる、貧困と格差の解消をどう実現するのか。あるいは、オックスファムが指摘

する、格差拡大をもたらす資本主義システムの欠陥とは何か。システムが搾取的であるとはどういうことか。講座では格差社会の仕組みとその解消のための道筋を論じます。

講師：福田 泰雄
一橋大学名誉教授
日時：2月25日（土）、3月4、11、18日（土）
15:30～17:00（全4回）
受講料：10,100円
場所：飯田橋キャンパス（対面）

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。（特別区協議会事業部）

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>

Tel.03-3288-1050（平日 9:00～17:30）

●パンフレットを無料送付いたします。

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃技術訓練センターにおける 調査・研究の取組

清掃技術訓練センター（以下「訓練センター」という。）では、清掃工場等の運営を担う職員の訓練や、清掃工場等への技術的支援を行っています。

清掃事業の区移管当時、東京都から派遣されていた職員が派遣終了を迎えたことや、団塊の世代であるベテラン職員の大量退職により、若い世代の育成が課題となりました。そこで、これまで培ってきた技術・技能を確実に次世代へ継承していくため、平成20年10月、新江東清掃工場内に訓練センターが設置されました。その後、清掃工場等への技術支援を目的に、平成25年4月に調査・研究部門が設置されました。

今回は、訓練センターが行う調査・研究についてご紹介します。

1 調査・研究への取組

調査・研究は、清掃工場等の運営を経験した機械職・電気職・化学職の技術系職員が、その専門性を発揮して取り組んでいます。

調査・研究テーマの選定に当たっては、清掃工場等が抱える技術的課題についてヒアリングの実施や機器故障の分析を行い、清掃工場等の様々な課題の把握に努めています。

調査・研究の進め方には、調査・研究テーマに応じて、訓練センター職員による自主調査・研究と、先端技術や最新情報を持つプ

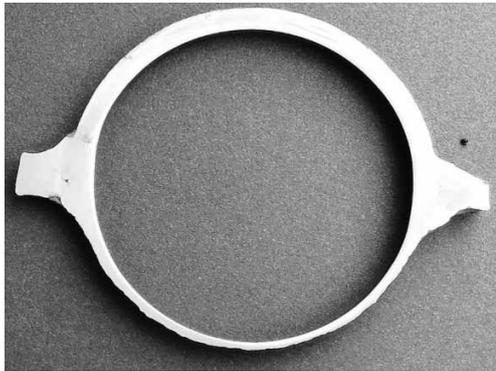
ラントメーカー（清掃工場を設計・施工した者）等との共同による調査・研究があります。

2 調査・研究内容

調査・研究に当たっては、清掃工場の操業データ等の分析、分析室での実験や清掃工場をフィールドとした実験等を行っています。これまでの調査・研究について、いくつかをご紹介します。

ボイラ水管等の保全対策

清掃工場の焼却炉内部にあるボイラの水管は、高温の排ガス等に触れて腐食し、厚みが減少していきます（写真1）。腐食した水管は適切な時期に交換を行う必要がありますが、交換の頻度を低くし、水管を長く使用するため、プラントメーカーと共同で水管の耐久性の検討を行いました。



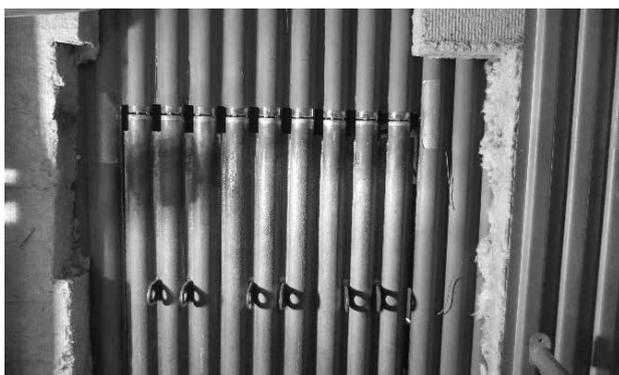
(写真1) ガスに触れる部分(下側)の厚みが減少した水管

ボイラの水管の一部を様々な材料で作られた水管に交換（写真2）して、水管の厚みが減少していく様子を観察・分析することで、交換したそれぞれの水管の耐久性の実験を行いました。

発電機の劣化診断

清掃工場の発電機やボイラ等の基幹設備の故障は、操業に重大な支障を来すため、当組合では、これらの機器の予防保全を強化しています。

蒸気タービン発電機の予防保全対策として、絶縁性能の劣化を運転状態で簡便に診断するため、劣化により発生するオゾンの濃度を測定（写真3）することによる診断方法の検討を行いました。



(写真2) 様々な材料の水管に交換

薬剤の効果的な取扱い

清掃工場で焼却処理した際に発生する排ガス・排水は、薬剤により有害物質を処理しますが、より効果的な処理を行うため、薬剤の取扱いについて、検討会を設け検討を行いました。検討は、外部有識者、訓練センター職員等により行われ、清掃工場から集めた各種データや分析室（写真4）での実験結果を基に行いました。

また、清掃工場では、平成22年度から令和2年度の間、水銀が混入したごみの搬入が原因で、焼却炉の停止が23件発生し、復旧には多大な時間と費用を要しました。そこで、より水銀除去の効果を発揮する薬剤の使用方法について、分析室において実験（写真5）を行いました。



(写真3) 蒸気タービン発電機でのオゾン濃度測定



(写真5)水銀対策用薬剤の実験装置



(写真4)分析室内部



(写真6)小型コンテナを用いた灰の固着を再現した実験

灰の資源化
 当組合では、焼却灰の埋立処分量を削減するため、焼却灰の一部は埋立処分せずにセメント原料化しています。原料化に当たりセメント工場へは、鉄道、船舶、車両を用いてコンテナで運搬しますが、コンテナ内部で焼却灰が固着して、荷下ろしが困難になることがあります。そこで、コンテナ内部で灰が固着することを防ぐため、運搬事業者と共同で検討を行いました。

船舶輸送用のコンテナを模した小型コンテナを作成し、灰が固着する様子を再現(写真6)するとともに、灰の固着を予防する各種対策について、実験(写真7)を行いました。



(写真7)小型コンテナを用いた灰の荷下ろし実験

3 調査・研究成果の活用・発表

調査・研究で得られた成果は、当組合の技術発表会や、清掃技報(廃棄物処理技術に関する論文集、写真8)等を通じて組織内で共有し、清掃工場等の安全で安定的な運営に活用されています。

また、清掃技術の向上に寄与するため、外部専門誌への論文投稿、学会等での発表による情報発信を行っています。令和3年度は、第32回廃棄物資源循環学会研究発表会においてポスター発表(写真9)を行いました。

4 むすびに

訓練センターでは、今後も、清掃工場等の技術的課題の解決に向けた調査・研究を継続的に行い、当組合の経営理念である「区民の信頼に応える安全で安定した清掃工場等の効率的運営」の実現に向け取り組んでいきます。

(東京二十三区清掃一部事務組合
 清掃技術訓練センター)



(写真9)廃棄物資源循環学会での成果発表



(写真8)清掃技報



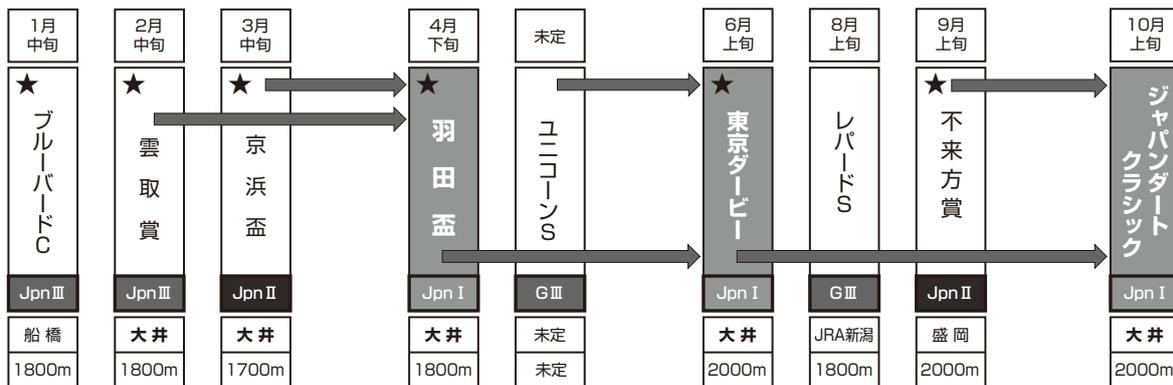
日本の3歳ダート三冠競走が誕生！ 全レースをTCKで実施！

中央競馬（JRA）では、3歳芝クラシックとして「皐月賞」「東京優駿（日本ダービー）」「菊花賞」がありますが、地方競馬が主に実施しているダート競馬では、これまでこうした仕組みがありませんでした。このたび、東京シティ競馬（TCK）が実施する「羽田盃」「東京ダービー」及び「ジャパンダートクラシック（ジャパンダートダービーから改称）」が3歳ダート三冠競走に位置付けられることとなりました。

これにより、TCKでは2024年より地方競馬最多となる10のダートグレード競走を実施することとなり、JRA・地方競馬の所属の枠を超えて高い能力を持った馬が覇を争う、より質の高いダート競馬をお楽しみいただける環境が整えられました。

TCKでは、3歳ダート三冠競走および関連レースの質や価値を高め、東京大賞典（GI）などで古馬勢と対決しダート競馬の主役へと駆け上がっていくストーリー性を持たせるなど、より魅力ある競走をお届けいたします。

★ = 新設ダートグレード競走



「馬のことは馬に聞け！」キャンペーン いよいよファイナル！

日本競馬を盛り上げたレジェンドホースによるレース予想や、豪華声優陣がアテレコしたTCK誘導馬による重賞レース紹介などで昨年末を盛り上げた当キャンペーンも、いよいよ1月25日（水）のTCK女王盃でファイナル！

ディープインパクトの母・ウインドインハーヘア、東京大賞典連覇のホッコータルマエに続くレジェンドホースは果たしてどの馬か!? 大好評のTCK誘導馬動画の最新作は1月16日（月）に公開予定です。ぜひご覧ください！



Amazonギフトカードや
東京ビーフが抽選で当たる！

詳しくはコチラ▶▶▶



（競馬事務局 広報課）

開催成績

（各回対比）

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1日平均			前年度同時期対比（1日平均）		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
15	12/5～9	9,341,313,900円	892,812人	1,868,262,780円	178,562人	10,460円	110.4%	120.0%	92.0%



2月の開催予定

競馬開催日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
大井																												
川崎																												
船橋																												
浦和																												
井崎																												
橋和																												
和																												

金盃 (SII)

●2月22日(水)
●2,600m
2015年から2,600mに距離を変更し、国内では最も長い距離で争われるタート重賞となりました。向正面からスタートし、約1周半を駆け抜ける戦いは、長距離ならではのペース配分や位置取りが勝敗を分けるケースも多く、トップジョッキーたちの腕比べも見逃せないポイントです。
<上位2頭にダイオライト記念の優先出走権を付与>

雲取賞 (SIII)

●2月23日(木・祝)
●1,800m
2018年まで準重賞として実施していましたが、2019年から重賞での実施となりました。TCKで行う年明け最初の3歳重賞となり、雲取賞→京浜盃→南関東3歳クラシック三冠レースと続く路線を確立しました。
<上位3頭に京浜盃、上位2頭に羽田盃の優先出走権を付与>

3月の開催予定

競馬開催日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
大井																																						
川崎																																						
船橋																																						
浦和																																						
井崎																																						
橋和																																						
和																																						

フジノウェーブ記念 (SIII)

●3月9日(木)
●1,400m
TCK唯一の1,400m重賞です。レース創設から4連覇を果たしたフジノウェーブの功績をたたえ、2014年からレース名を改称。翌月の交流競走・東京スプリントに向け、短距離路線を歩む有力馬たちが数多く出走します。
<優勝馬に東京スプリントの優先出走権を付与>

京浜盃 (SII)

●3月29日(水)
●1,700m
クラシック戦線開幕を間近に控え、3歳のトップクラスが勢揃いします。数多くのクラシック馬を輩出している伝統のレースで、地元デビューの素質馬だけでなく、初めてTCKコースに参戦する他場の所属馬や、他地区から転入した馬の走りにも注目の一戦です。
<上位3頭に羽田盃の優先出走権を付与>

パソコンからでも、スマホからでも投票できる!

ネットで地方競馬を楽しむなら!

SPAT4

全国の地方競馬全レースが買える!ライブが見られる!

50円から買える!「トリプル馬単」も発売!

馬券購入でポイントが貯まる!

最短15分でスパッと入会!

お問い合わせは **0120-006-309**

南関東競馬開催日の昼間開催10~17時 / ナイター開催12~21時
※20歳未満の方はご利用いただけません。またご利用いただけるのは日本国内在住の個人の方のみです。法人でのお申し込みはできません。

<https://spat4special.jp>

SPAT4 検索



編集

- 特別区長会事務局調査第1課
- 特別区議会議長会事務局
- 特別区人事・厚生事務組合総務部総務課
- 公益財団法人特別区協議会総務部総務課
- 東京二十三区清掃一部事務組合総務部総務課
- 特別区競馬組合競馬事務局広報課

- TEL (5210) 9738 ホームページ<https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
- TEL (5210) 9731 ホームページ<http://www.tokyo23city-gichokai.jp/>
- TEL (5210) 9916 ホームページ<https://www.union.tokyo23city.lg.jp/>
- TEL (5210) 9917 ホームページ<https://www.tokyo-23city.or.jp/>
- TEL (6238) 0615 ホームページ<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>
- TEL (3763) 2170 ホームページ<https://www.tokyocitykeiba.com/>